

と Clinic

プロジェクトを共有

思い・感情・課題を共有

五稜会

北区の五稜会病院（中島公博理事長、千丈雅徳院長・百九十三床）は、病院の建て替えとともにブランドプロジェクトを展開。スタッフ間でさまざまな事柄を共有することで、病院のブランド力向上に努めている。

プロジェクト開始の

が狙いだ。

院内誌「イノベーション

通信」を発行（年四回）。

経営方針や各部署のスタ

ップ・役割等も紹介して

おり、職員の家族にも病

院を知ってもらい、誇り

に感じてもらうことで間

接的に職員のモチベーシ

ョンを向上させていくこ

とも目的という。

病院シンボルマーク公

開発の民間企業からの

「何かが変わる」とい

提案。「SHARE（共

年二月に予告もなく合言

有）、CHANGE（変

葉だけを記載したブラン

ON（創造）を言葉に、

予告ボスターを院内各所

に貼り出した。

スタッフの仕事にかけ

る情熱や課題、病院へ

の思いなども取り上げる

し、自己変革を高めるの

が課題となっている。

募には、九十作品以上集まった。投票や選考会の結果、庄司繁昌看護師が作成した、ハートをモチーフに使用されている。

「うれい」「感動した」などプラス思考の共有が業務改善など、さまざまな面に好影響をもたらしているという。

地域交流の場に

カフェエきよう開設

生ク 厚ク 田二 沼ク

空知管内沼田町は、沼田厚生クリニックス（金谷 一院長・無床）に、ぬ

同クリニックスは、昨年四月に沼田厚生病院から転換。町は新施設を二十九年四月に旧中学校跡地に建設する計画を進めて

集めることで、温熱で組めるという。いる。